

第3回臨時会概要

7月30日に第3回臨時会を開催し、一般会計補正予算として**1,153万3千円**の追加補正について審議を行いました。補正の内容は、今年3月の記録的な大雨により一部が崩壊した大滝区・市道平成ふるさとの道2号線の復旧工事にかかる費用**1,043万5千円**と大滝区浴場「ゆのさと館」の給湯用熱交換器と暖房用熱交換器に確認された亀裂を修繕する費用**109万8千円**でした。

いずれも原案のとおり可決しました。

第3回定例会概要

平成27年第3回定例会は、9月1日から30日まで開催されました。

今回は、新しく建設される学校給食センター(だて歴史の杜食育センター)の整備運営事業契約の締結と10月からスタートするマイナンバー制度に関わる条例の改正のほか、**2億6,552万4千円**の追加となる一般会計補正予算の審査を行いました。また平成26年度伊達市一般会計及び特別会計決算についても3日間の日程を組んで審議し認定を行い、最終日には新副市長の選任について追加議案が示され、選任に同意をしました。

■主な議案

北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について、市道の路線の認定について、だて歴史の杜食育センター整備運営事業契約の締結について、伊達市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例、伊達市個人情報保護条例の一部を改正する条例、伊達市手数料条例の一部を改正する条例など。

(詳細は5ページの委員会報告をご覧ください。)

● 予算決算常任委員会報告

平成27年度伊達市一般会計補正予算 2億6,552万4千円を追加し、歳入歳出の予算総額は180億2,384万6千円となりました。

■主な補正予算

- 第7次伊達市総合計画策定推進経費…………… **25万5千円**
- 市民活動センター維持管理費…………… **1,653万7千円**
- ケーブルテレビ事業運営経費…………… **41万1千円**
- 個人番号カード交付等経費…………… **295万1千円**

- 子どものための教育・保育給付費負担金…………… 1億7,629万4千円
- だて歴史の杜トイレ改修事業…………… 3,240万円
- 旭町改良住宅改修事業…………… 631万5千円

◎平成27年度伊達市国民健康保険特別会計補正予算

2,007万6千円を追加し、歳入歳出の予算総額は56億4,622万1千円となりました。

※収支不足を補うための追加補正

◎平成27年度伊達市介護保険特別会計補正予算

2,793万5千円を追加し、歳入歳出の予算総額は33億606万1千円となりました。

※基金積立金及び償還金のための追加補正

◎平成27年度伊達市後期高齢者医療特別会計補正予算

1,451万5千円を追加し、歳入歳出の予算総額は5億6,674万5千円となりました。

※後期高齢者医療広域連合への追加納付のための補正

9月11日に全議員で構成する予算決算常任委員会を開催し、各会計補正予算について質疑を行い原案のとおり可決しました。



意見書

今定例会に上程された意見書は6件で、審査の結果、国に提出することとなった意見書は以下の通り4件 でした。各意見書の内容については伊達市議会HPをご参照下さい。

結果	件名	提出者	新政クラブ	会派創生	市民クラブ	公明党	青雲
○	ジャガイモシストセンチュウ対策の徹底を求める意見書	日本共産党伊達支部	○	○	○	○	○
○	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	公明党伊達支部	○	○	○	○	○
○	ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	公明党伊達支部	○	○	○	○	○
○	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	北海道木材・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会	○	○	○	○	○
×	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	いらない！戦争法案西いぶりの会	×	×	×	×	○
×	TPP交渉から撤退することを求める意見書	日本共産党伊達支部	×	×	×	×	○

【解説】

各団体から提出された意見書は会派ごとに審査を行い、定例会中に議会運営委員会を開催し国に提出するかどうかを判断します。会議では会派を代表して意見を述べて、全会派数の2/3の可(賛同するの意)をもって、伊達市議会の機関意志として国の各機関に提出することになります。よってこの政党や団体から出されようと提出された意見書は伊達市議会の意志ということになります。

提出先の国の機関とは、内閣総理大臣、衆参議会議長や各担当大臣宛などかかるテーマに合わせて提出者の意志が反映されます。

全国から寄せられる意見書は、平成25年の衆参両院受理件数で7,025件。衆参両院は毎年7,000件前後で推移しているそうです。

【メモ】

今回の議会だよりから、各会派ごとの意見書に対する意見を整理し掲載することにしました。ちなみに意見書の可○・否×は会派の中でも意見が分かれます。意見書の内容によっては○も×も付けづらい内容のものもあり判断に困ることもあります。なお無会派の議員の意見は反映されません。会派制による議会運営に臨むことが前提となっているため議会としてのルールとなっています。